

なみえまち 文化財通信

鑄鉄地藏尊像



5月1日、浪江町の有形文化財にも指定されている「鑄鉄地藏尊像」を救出しました。この像はもともと、請戸地区の住民の皆さんの手で

お地藏様を救出しました

浪江町教育委員会は、平成26年秋より本格的に、浪江町内の文化財調査およびレスキュー活動を行っています。寺社の仏像や彫刻品、民家に保管されている古文書などが主な対象で、浪江町文化財調査委員（5名）のほか、福島県文化財課をはじめ県立博物館、県立美術館、県文化振興財団、ふくしま歴史資料保存ネットワーク等、大変多くの皆さまのご協力を頂いています。これから随時、このページで調査やレスキューの様子をお伝えします。

現状の浪江町での文化財レスキュー活動は、救出後の保管スぺー

いでしようか。

大切に保管されていたものです。津波で流され行方不明となっていました。ガレキ撤去の作業中に発見された、無事レスキューの運びとなりました。4年の歳月を経て奇跡的に見つかり、やっと戻ってきた地藏像。きつとこれからも私たちの安寧を静かに見守ってくれることでしょう。

貴重な古文書をふたたび

6月23日、請戸集会所内で津波をかぶって横倒しになったままの金庫を解体し、中に保管されていた古文書などを救出しました。その昔銀行から譲りうけたという耐火性の大型金庫で、津波にも耐えた頑丈な造りのため、解体作業は困難を極めました。多くの皆さまのご協力のもと無事中身をレスキューすることができました。これにより、旧請戸村の明治期の行政資料など、現在の請戸のルーツとなる貴重な行政文書等がふたたび姿を現すことになりました。復興に向け、先代達の貴重なメッセージを後世に残せるのではない

スや管理の問題など制約もあります。浪江町を形づくって来た貴重な文化財を主体的に調査・救出することで、「浪江町のアイデンティティ」を、より良い形で後世に引き継ぐお手伝いをしていきます。



金庫の解体の様子

救出した古文書類

